



いずみ

特定非営利活動法人 いずみ
 ☆いずみ作業所☆就労定着支援いずみ
 横須賀市長井1-18-56
 TEL&FAX 046-856-7074
 ☆アトリエかもめ
 横須賀市ハイランド4-50-8
 TEL&FAX 046-848-7023



災害に備えるということ — 地域で支え合う力 (共助) —

三月号では「自助」、すなわち在宅避難と家庭での備えについてお伝えしました。今号では第二回として、「共助」、地域で支え合う仕組みについて考えます。

二月の情報交換会では、災害時における要援護者支援の体制についても説明がありました。横須賀市では「災害時要援護者支援プラン」に基づき、一定の条件に該当する高齢者や障害のある方などを対象に名簿を整備し、本人の同意のもとで町内会・自治会、民生委員等と情報共有を行う仕組みが整えられています。

災害が発生した際には、この名簿を活用し、安否確認や声かけが行われます。ただし、ここで大切なのは「支援は可能な範囲で行う」という原則です。支援する側の安全が最優先であり、過度な責任が個人に課されるものではありません。

共助とは、特別な活動を意味するものではありません。日頃からの顔の見える関係づくりが、その基盤となります。あいさつを交わすこと、気になる方にさりげなく声をかけること、地域の行事に参加すること。そうした日常のつながりが、いざという時の安心につながります。

近年、単身世帯の増加や高齢化の進行により、地域のつながりが希薄になりつつあると言われています。一方で、災害時に最も力を発揮するのは、遠くの支援よりも「近くの支え合い」であることも事実です。行政による公助が本格化するまでの時間をつなぐのは、地域の力です。

私たち福祉に携わる者は、制度や専門的支援を担う立場にありますが、地域のつながりそのものを代替することはできません。専門職の役割は、地域の力を補完し、支えることにあります。平時から地域と顔の見える関係を築くことが、災害時の円滑な連携につながります。

共助は、無理をすることではありません。すべてを背負うことでもありません。できる範囲で気かけ合うこと、その積み重ねが地域全体の安心につながります。

災害はいつ起こるか分かりません。しかし、日頃の関わりは今日からでも始めることができます。身近な地域の中で、「気にかける存在」を一人増やすこと。それが共助の第一歩ではないでしょうか。

次号では第三回として、公助と専門職の役割、福祉避難所や個別避難計画についてお伝えいたします。

新田統之

3月～4月 いずみ作業所の畑だより

暖かな陽気になり、畑のメンバーはリラックスモードでブロッコリーの脇芽収穫・撤収、除草などの作業に取り組んでいます。3月末の菜種梅雨で、ハウレン草やレタスの葉物野菜が勢いよく育ち、豆類もぐんぐんと背を伸ばして新しく挑戦している他の野菜たちにとっても恵みの雨となりました。

ブロッコリーとハウレン草の栽培が終わり、里芋の定植準備を進めている所です。これから本格的な夏野菜のシーズンに向け、しっかりと準備を整えていきます！

【畑だより筆者：畑従事利用者S.Iさん】 植山、新田武志

資源回収にご協力ありがとうございます。 アルミ缶も従来どおり回収します。

3月度の回収量 20,668.5kg、回収奨励金 ¥82,600

	回収日	3月度	4月度	5月度	6月度
森崎地区	第2金曜日	3,731kg	4月10日	5月8日	6月12日
ハイランド	第3土曜日	16,937.5kg	4月18日	5月16日	6月20日

雨天でも行います。ただし、台風、大風、積雪の時は中止します。

回収品は09:00までに道端にお出しく下さい。雨天の時は布類は引き取れません。種類ごとに別々の車で回収しています。あと出しは回収漏れとなります。

良く見えるように、門外にお出しく下さい。

回収対象品の種類のお知らせとお願い

☆古紙類・新聞、雑誌、段ボール、紙パック、その他の紙に分類してください。

☆布類・ぼろ布、古着、毛糸 雨天の時は衣類を出さないでください！！

☆金属・缶 従来通りアルミ缶を透明袋に入れてお出しく下さい。

スプレー缶は回収いたしません。

横須賀市の指針に従って「缶ごみ」に出してください。

・鉄製品 自転車(タイヤを外す)、門扉、フェンス、側溝の蓋
解体したスチール製の物置、ミシン、編み機
(ポット、ジャー、レンジ、ストーブ、三輪車は対象外です)
(プラスチックの組み込まれた品物は対象外です)

・アルミ製品 鍋、釜、サッシュ、門扉など
・銅製品 銅パイプ、銅チューブ、銅板、水道の蛇口など
・電線 家庭用屋内配線(F1ケーブル)など

バザー用品 長らくバザー、フリーマーケットを開催していましたがコロナ禍で中断しました。熟考した結果、再開は難しいと判断致しました。ご協力くださいました皆様に感謝致します。

**2024年9月の資源回収よりバザー品の回収は行いません。
ご注意ください。**

☆その他・こでん、希少金属含有物

連絡先：いずみ作業所：856-7074 アトリエかもめ：848-7023

(株)アサヒリソース TEL 847-1366 FAX 848-0366

こでん(使用済小型家電)について

世界的な環境規制強化により廃プラスチックの処分が困難になりました。

したがって、従来回収対象としていたものを変更せざるを得なくなりました。

当面、こでん回収対象品は次のものに限定させていただきます。

DVDプレーヤー、携帯電話、スマホ、ハードディスク、基板

家電リサイクル対象物は出さないでください。

(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機。これらはリサイクル券が必要です)

台風・大風・積雪の時は中止します(ゴルフ、サッカーの試合が中止となるような時)

〈4月・5月の予定〉

- ・ 4/10 資源回収 森崎地区 (AM9:00~)
- ・ 4/18 資源回収 ハイランド地区 (AM9:00~)
- ・ 5/ 8 資源回収 森崎地区 (AM9:00~)
- ・ 5/16 資源回収 ハイランド地区 (AM9:00~)

いずみ作業所

(☆印は同一行事です)

- ・4/1 意見交換会
- ・4/1.15 パソコン
- ・4/3.17 バイタルチェック
- ・4/3 クラブ活動
- ・4/7.14.21.28 音楽の日
- ・4/8 横須賀市リズム体操教室
- ・4/10 森崎地区資源回収
- ・4/13 防災訓練

アトリエかもめ

(☆印は同一行事です)

- ・4/2 お花見
- ・4/6.13.20.27 公園散歩
- ・4/10.24 バイタルチェック
- ・4/15 音楽教室
- ☆4/18 ハイランド地区資源回収
- ☆4/22 リズム体操
- ☆4/24 支援員ミーティング

有難うございました

- (特非いずみ)
- ・(株)アサヒソース様
- ・平田様(千曲市)

いずみ作業所

- ・櫻井様(小田原市)

アトリエかもめ

- ・作業ボラ様
- ・音楽ボラ様
- ・伊藤様(長沢)
- ・島崎様(大矢部)
- ・岡本様(ハイランド)

バザー用品
 長らくバザー、フリーマーケットを開催しておりましたがコロナ禍より中止しておりました。熟考した結果、再開は難しいと判断致しました。ご協力くださいました皆様に感謝致します。2024年9月の資源回収よりバザー品の回収は行いません。ご注意ください。

賛助会員を募っています

任意団体「いずみ会」を発展的に解散し、平成26年4月1日付で特定非営利活動法人いずみとして活動開始しました。

(特非)いずみは障害者の日常生活支援、個々の能力に応じた働く場、一般市民との交流の場を提供するとともに、一般市民に対して障害者福祉に関する啓発活動を行い障害者が地域の一員として暮らしてゆける豊かな社会の実現に寄与することを目的としています。

この目的達成のため、障害福祉サービス事業の指定を受け、生活介護事業所としての「いずみ作業所」「アトリエかもめ」を開設しました。(「自主訓練会」は解散しました。)地域の皆様との交流を深めるため従来より資源回収のご協力をお願いしていますが、賛助会員になって頂きたくお願い致します。

会費 一口 1,000円(何口でも可)
 会費は郵便振替又は作業所にお持ちください。
 振替口座名義:特定非営利活動法人いずみ
 口座番号:00200-6-102213
 従来の「いずみ会」の番号から変わりました。

HP 「特非 いずみ」 検索
<https://www.yokosuka-izumi.com/>

いずみ作業所日記Part241

～本人部会に行ってきました～

一年ぶりの開催で今回は①・②・③の内容をテーマで話し合いが行われました。

- ① 本人部会で話し合いたいテーマ
 - ② 本人部会で勉強したいこと
 - ③ 本人部会でやってみたいこと…
- について話しました。

司会に立候補した利用者さんや英会話ができるようになりたい。ボール遊びがしたい。国語の勉強がしたい。などなど色々な意見が出て、積極的に参加する様子があり有意義な本人部会になりました。

いずみ作業所支援員記

～アトリエかもめだよ～

春の訪れとともに、新しい年度が始まりました。本年度も、恒例のお花見へ出かけました。あいにくの雨で…気温も寒かった為、残念ではありましたが、午後からは止んでくれたのでよかったです。場所は逗子市にある披露山公園です。皆でランチもして、楽しめた事でしょう。

また、この度新たに利用を開始される方(R・Kさん)をお迎えすることとなりました。新しい環境に少しずつ慣れていただけるよう支援するとともに、これまで通われている利用者の皆様とも自然に関わり合いながら、落ち着いて過ごせるよう配慮してまいります。地域とのつながりを大切にしながら、開かれた事業所として歩んでまいります。

アトリエかもめ支援員記